

国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業

(報告)

団体名 : 一般社団法人東京ニュービジネス協議会／J300 実行委員会

【開催趣旨・目的】

WEPs（女性のエンパワーメント原則）の第5・6原則の実現に向けて国連の UNWOMEN とグローバルコンパクトが作成した7原則で構成される WEPs（女性のエンパワーメント原則）の第五・第六原則の促進を図るイベントである。

署名企業は各原則の遂行に尽くしているが、「ステークホルダーや地域との参画」を謳った第5原則、第6原則は、各社内で実施される管理職の登用促進や教育・研修機会の提供などの取組とは異なり、その活動方法や取組の在り方が模索されている。日本における WEPs の展開を考える際、第5、第6原則の活動方法を検討することは極めて重要であり、それは、WEPs の特徴が「職場だけでなく市場、地域とともに取り組む」ということにあること、さらには、男女共同参画社会の創造と深く関係している。こうした現状に鑑み、本事業では、第5原則のうち「女性の経営者や起業家との取引の発展、取引先や同業者の関与」、第6原則のうち「ステークホルダーや当局、その他の機関との協働促進」にフォーカスする。本事業では以下の成果が期待される。

- ①WEPs 署名企業や女性のエンパワーメントに関心がある一般の方々と女性起業家との間に接点を生み出すことで、男女共同参画社会の創造と理解を深める機会となる。
- ②女性起業家の業務内容を広く社会に発信し、取引機会を創出するとともに、WEPs 第5、6原則への取組の好事例を発信する。

【シンポジウム等の名称・テーマ】

企業×女性起業家のマッチングイベント

ビジネスにも運命の赤い糸ってあるんですーWEPs（女性のエンパワーメント原則）の実現に向けてー

【日時】2016年2月10日（水）13:00～17:15

【場所】イトーキ東京イノベーションセンターSYNQA

【参加者数】253名

【プログラム】

■トークセッション

- ・全国各地で活躍する女性起業家たちの取組紹介
- ・女性起業家×企業のコラボ先進事例の共有

■ミニ交流会

女性起業家が自信の事業をPRし企業の担当者と交流

■プレゼンテーション

14社の大手企業からいただいた事前課題に対し女性起業家のべ77社がプレゼン

■クロージングセッション

総括発表

【シンポジウム等を通して得た成果（効果）と課題】

■約 250 名の来場者に、女性起業家の取組を広く知ってもらうきっかけづくりとなった。

・トークセッションでは全国各地から計 7 名の女性起業家が登壇。

「大手企業と女性起業家の取引先進事例」と「全国各地で活躍する女性起業家の取組」を来場者と共有した。

・立ち見を軽減するための**ビジョンエリア**や**託児エリア**を設けたことでより多くの参加者にイベント参加してもらうことができた。



▲トークセッション 1 の様子



▲トークセッション 2 の様子



▲託児スペースの様子

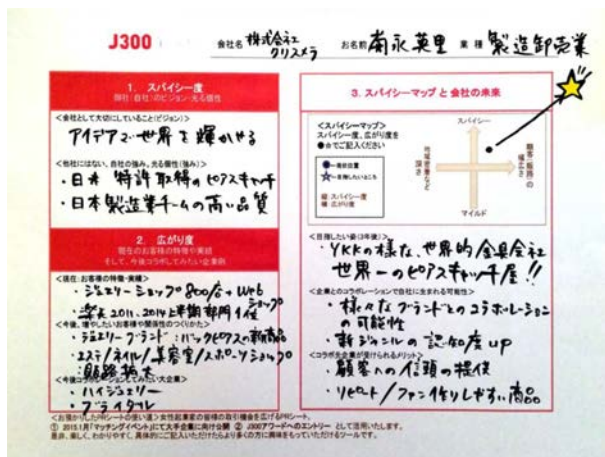


▲ビジョンエリア含め満員御礼

■企業、女性起業家双方に取引イメージをもってもらえることができた。

・提携先企業担当者がトークセッションに登壇し、企業担当者目線からも女性社長との提携裏話が聞ける貴重な機会となった。

・**女性社長共通の「PR シート」**を使用した交流会では、女性起業家が自身の特徴を可視化し、事業を他の参加者に知ってもらえる機会となった。企業からの参加者は女性起業家との具体的なコラボイメージを共有することができた。



▲PR シート



▲ミニ交流会の様子

■**プレゼン通過率大幅増**。第五原則の促進に向けた具体的な成果につながった。
参加企業より「もっと詳しく聞きたい（アポ・メール）」との評価は43%（33/77 プラン）となり昨年よりプレゼンプラン数（19→33）、通過率（36%→43%）ともに大幅増。
また、昨年と比較し**プレゼン欠席率はゼロ**となった。



▲プレゼンの様子 1

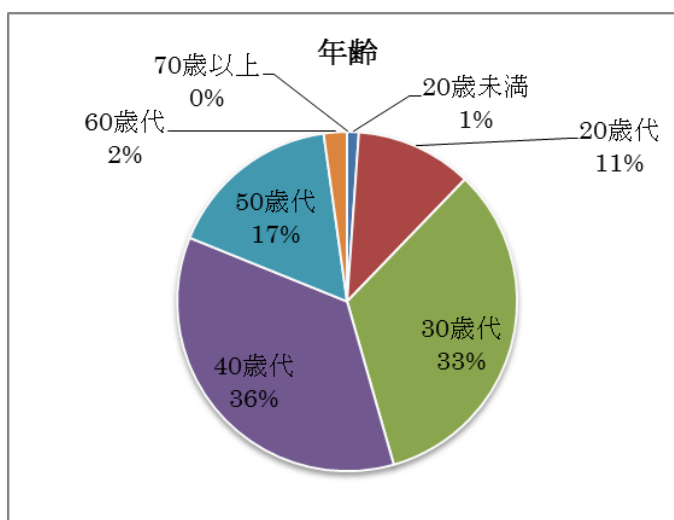
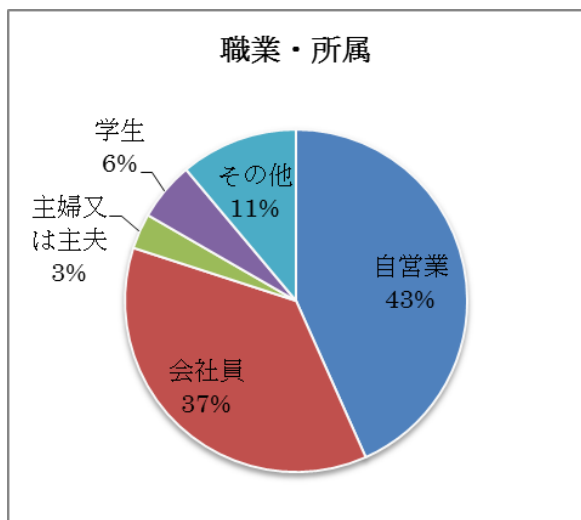


▲プレゼンの様子 2

【アンケート結果】

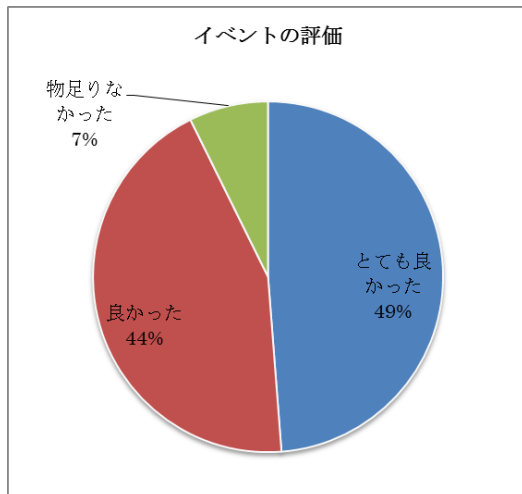
■参加者の属性

女性起業家だけでなく様々な職種、10代～60代までの幅広い年齢層の方がご来場



■イベントの評価

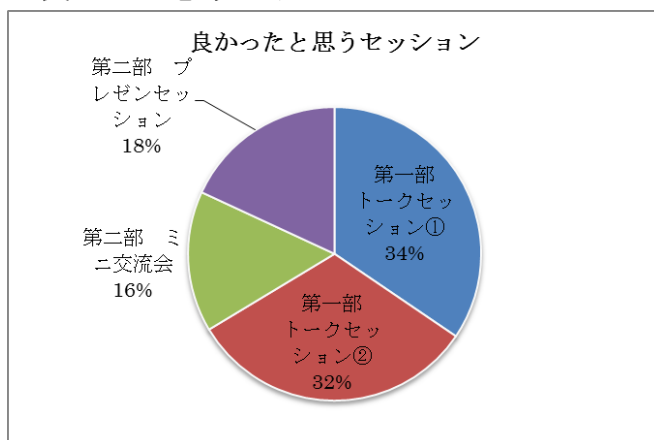
「とても良かった」「良かった」合計で93%の高評価



■参加者コメント（一部抜粋）

- ・登壇された企業全てが非常にユニークで**大変刺激になりました**
- ・本当に**知り合いたかった方とお知り合いになれました**
- ・実際の事例を聞きながら、自分の事業に重ね合わせたり、**モチベーションがあがった**
- ・みなさんの**パワーをいただいて、とにかくHAPPYなやる気がわいてきました**。これからはますますがんばり楽しんでゆきます
- ・**女性起業家の熱の高さ、プレゼン力、発想力が刺激になった**。コラボのプロセスも参考になった
- ・日々目標達成を積み重ねられている女性起業家皆様のお話でモチベーションが上がりました。参加者からの質疑応答があると更によかったです！
- ・なぜ事業を始めようと思ったかのきっかけがたくさん聞けてよかったです。事業計画、採算も聞けるともっとよかったです

■良かったと思うセッション



【今後の課題】

＜昨年の課題の改善＞

①参加者増：参加者数自体は微減（昨年度261名→今年度253名）

但し、昨年は学生向け企画があったため学生37名が参加数に含まれる。女性起業家、企業、一般の参加者を比較すると参加者数は増加した。

②満足度向上：アンケートの結果「とても良かった」「良かった」合計で93%の評価。

昨年は「参加者同士の交流の時間が少なかった、各セッションの時間が短い、複雑なプログラムにより理解が難しかった」という意見があったが、今年は「交流の時間が少なかった」「複雑なプログラム」という意見は無かった。

③プログラムの構成：学生ツアー及び2Fへ移動してのワークセッションを失くしたことで、よりシンプルなプログラムの構成になった。

＜今後に向けての課題＞

- ・同イベントの開催回数の増加、また、地方など開催会場の拡大などの可能性を検討する。
- ・参加者満足度の向上をはかる：トークセッションでは質疑応答があると良かった、事業計画・採算・実際のコラボ実現についてもう少し聞きたかった、短い時間で効率的に交流できる段取りだと良かった、などの声があった。
- ・複雑なプログラム構成であることもあり、受付やイベント進行において主催側スタッフが運営業者をサポートする状況が散見された。主催側スタッフが注力すべき業務に集中できるよう、良質な業者選定や開催業者の固定化などで運営の品質向上を図る。